株式会社コトブキパック

２０１６事業年度環境活動レポート

（対象期間：2016年７月1日～2017年６月30日）

作成日 ： 2017/9/4

□ ごあいさつ

～お客様の笑顔が見たい～

これが当社の基本です。

お客様に喜んでいただける製品を提供していくための努力と共に、
豊かな地球環境を次世代へ継承していけるよう努めてまいります。

株式会社 コトブキパック
代表取締役　 下澤　壽重

＜環境理念＞

株式会社コトブキパックは、段ボール製パレット、紙製緩衝製品、段ボール製品、紙器等の事業活動・製品・サービスを通じて、豊かな地球環境を次世代へ継承することを責務と認識し、地球環境保全と循環型社会の構築を目指した事業活動を行います。

＜環境方針＞

１．環境関連諸法規、条例及び、その他の要求事項を遵守するとともに、環境負荷の低減に取り組みます。

２、電力、水資源、化石燃料の使用削減と省資源活動を積極的に取り組みます。

３、製品の設計、開発、生産の過程において、廃棄物の排出量削減と３Ｒに努めます。

４、グリーン購入を積極的に推進します。

５、環境教育や日常の環境意識の向上を図り、製品やサービスの質の向上に努めます。

６、社内及び、周辺地域との融和を図り、環境活動を通じて、地域社会との共存を図ります。

７、環境方針及び、環境保全活動の状況は、全従業員に周知すると共に、適切な形で一般に公開します

制定日 ： 平成23年5月1日

代表取締役会　　下澤　壽重

□ 組織の概要

（1）名称及び代表者名

株式会社コトブキパック

代表取締役会長　下澤　壽重

（2）所在地

本社工場　　長野県松本市庄内２丁目７番１０号

西南工場　　長野県松本市大字今井字松本道7089-3

東京営業所　東京都新宿区馬場下町１４番地　翔ビル

物流センター　東京都東村山市恩多町１－１３－２　LOG-PORT102　４F

（3）環境管理責任者及び担当者連絡先

責任者　　本社工場長　上條　祐輔

担当者　　環境部長　　坪田　孝史

（4）主要製品

段ボール製パレット、紙製緩衝製品、段ボール製品、紙器製品

（5）事業の規模

製品出荷額　　４３２百万円

主要製品生産量　１，３８７ｔ

	本社	西南工場	東京営業所	物流センター
従業員	３１人	１５人	２人	９人
延べ床面積	1080㎡	1039㎡	103㎡	610㎡

（6）事業年度　　7月～6月

□ 認証・登録の対象範囲・活動

登録組織名　：　株式会社コトブキパック

関連事業所　：　本社工場
西南工場
東京営業所
物流センター

活　　動　　：　紙製緩衝材・ダンボール・紙器・包装材の設計、製造、販売

□ 主な環境負荷の実績

項目		単位	2014年	2015年	2016年
二酸化炭素総排出量 二酸化炭素排出係数	0.513 kg-CO^2/kWh	kg-CO^2	113,433	101,128	103,396
廃棄物排出量		t	179.93	179.12	169.44
一般廃棄物排出量		t	175.06	173.28	164.61
産業廃棄物排出量		t	4.87	5.84	4.83
総排水量		㎥	453	453.8	442.5

＊ 中部電力2015年発表の係数を使用しています
物流センターの電気・水使用量は把握できません

□ 環境目標及びその実績

項目＼事業年度		2014年 実績(基準年)	2015年 実績	2016年 目標 基準年の98%	2016年 実績	2017年 目標 基準年の97%
電力の二酸化炭素排出量の削減	購入電力	106,581kwh	102,176kwh	104,449kwh	106,231kwh	103,384kwh
	kg-CO^2	54,676	52,416	53,583	54,496	53,036
化石燃料の二酸化炭素排出量削減	ｶﾞｿﾘﾝ	3644ℓ	2719ℓ	3571ℓ	1975ℓ	3535ℓ
	軽油	11758ℓ	9928ℓ	11523ℓ	9983ℓ	11405ℓ
	灯油	7624ℓ	6386ℓ	7472ℓ	7098ℓ	7395ℓ
	LPG	147kg	143kg	144kg	142kg	143kg
	kg-CO^2	58,757	48,712	57,582	48,900	56,994
上記二酸化炭素排出量合計	kg-CO^2	113,433	101,128	111,165	103,396	110,030
一般廃棄物の削減	t	175	174	172	165	170
産業廃棄物の削減	t	4.87	5.8	注視・測定	4.83	4.82
水使用量の節約	㎥	453	454	444	443	439
事務用品のグリーン購入		60%	63%	65%	65%	70%
製品への環境配慮		12件	14件	13件	13件	14件

□　環境活動の取り組み計画と評価

◎よくできた　○できた　△あまりできなかった　×全くできなかった

取り組み計画	達成状況	評価（結果と今後の方向）
電力による二酸化炭素排出量の削減		年間通して、目標使用値をオーバーした。
・　室内不在時消灯	◎	
・　昼休憩時消灯	◎	仕事量により電気使用量は変化するが、指数（kg-Co2/売上高）は１２６、前事業年度は１２７だったので、エコ活動は出来ていると思われる
・　使用外のＩＴ機器の電源ＯＦＦ	○	
・　冷房温度２８℃設定	◎	
・　暖房温度２０℃設定	◎	前年の使用量と比べてみても、夏・冬の使用量が増えているわけではない。
・　外気の室内取り込み	◎	
・　エアコンフィルター清掃	○	休止していた機械再稼働の仕事も増えたのでそれも要因と考えられる。
		引き続き節電の呼びかけをおこなっていく
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減		目標達成。
・　エコドライブ教育	△	これからも１way輸送などの無駄走りが無くなるよう徹底していく
・　法定速度遵守	○	
事業系一般廃棄物、事務所内廃棄物の削減		業務で排出される材料端材を社内用コピー紙に利用したり、ボール紙や段ボールにおいてはより小さな製品に活用するなど、廃棄物の削減に取り組んでいる。
・　廃棄物再利用	◎	
・　コピー紙裏紙使用	◎	
・　段ボール、白上質紙１００％リサイクル	◎	
・　廃棄物分別徹底	◎	
産業廃棄物の削減		
・　分別の徹底	◎	製品資材の包装紙など、輸送用の緩衝材や包装として再利用している。
・　資材の再利用、リサイクル化	◎	
・　マニフェスト管理徹底	◎	
節水		目標達成。
・　節水の呼びかけ	◎	
・　水資源の有効活用	○	節水の呼びかけを継続しておこなう。
グリーン購入		
・　グリーン製品の購入	○	事務用品の購入時にグリーン製品か確かめて購入している。
		RoHS対応品も確かめて購入する
製品への環境配慮		
・　省エネ商品販売	○	段ボール製パレットも順調に出荷している。
・　再生資源の積極的利用	○	材料端材も製品あて紙などに利用している。
・　材料端材の活用	○	
作業時のエコ活動		作業場を広く使う。機械周りを広げ、加工する材料をパレットのまま入れ込むようにした。
・　作業手順見直し	○	
・　作業時間短縮	○	木製パレットの裏に台車用タイヤを付け狭い所もパレットに乗せたまま移動できるようにした。
		作業効率を上げることで１つの製品に対する時間を減らすと、Ｃｏ２削減になることを社員全員で共有し実行していく。
社会貢献		
・　月１回の社内外のクリーン活動	○	社内外のごみ拾いや草取りを定期的に行っている。

月１回の社内外草取り、清掃風景

弊社オリジナルの教科書

□ 次年度の取組内容

取組内容	重点的な取組
電力による二酸化炭素排出量の削減 ・ 室内不在時消灯 ・ 昼休憩時消灯 ・ 使用外のＩＴ機器の電源ＯＦＦ ・ 冷房温度２８℃設定 ・ 暖房温度２０℃設定 ・ 冷房時の扇風機使用 ・ エアコンフィルター清掃 ・ 機械のアイドリングストップ	エアコンフィルターの清掃は年2回を目標とし、チェック表に書き込む 引き続き節電の呼びかけ。 熱を使う機械などは、計画をたて１度に終わらせるようにしていく
自動車燃料による二酸化炭素排出量の削減 ・ アイドリングストップ ・ 法定速度遵守 ・ 急発進、急停車を控える ・ タイヤ空気圧適正管理	むだなアイドリングを控える 朝の配送会議で日の配達予定を組み１Ｗａｙ輸送をなくていく
事業系一般廃棄物、事務所内廃棄物の削減 ・ 廃棄物再利用 ・ コピー紙裏紙使用 ・ 段ボール、白上質紙１００％リサイクル ・ 廃棄物分別徹底 ・ 製品端材をコピー用紙やメモ紙に使用	有価廃棄物完全分別 材料端材の有効活用により廃棄物削減をする
産業廃棄物の削減 ・ 廃棄物の分別の徹底 ・ 資材の再利用、リサイクル化 ・ マニフェスト管理徹底	産業廃棄物の分別の徹底 すべてをゴミとしないで再度使えるものは積極的に再使用する
節水 ・ 節水の呼びかけ ・ 水資源の有効活用	節水の呼びかけ
グリーン購入 ・ グリーン製品の購入	事務用品の購入時はグリーン製品を選ぶ
製品への環境配慮 ・ 省エネ商品販売 ・ 再生資源の積極的利用 ・ 材料端材の活用	あまっている材料や、大判材料の切り落としを他の製品に充てる。社内、材料置き場を広く使う
作業時のエコ活動 ・ 作業手順見直し ・ 作業時間短縮 ・ ５Ｓ徹底から作業効率を上げる ・ 社員教育	作業手順の見直しや時間短縮を図り、結果的に二酸化炭素排出量削減につなげる ５Ｓの徹底から作業効率のアップを狙い、社員全員で取り組む
社会貢献 ・ 月１回の社内外のクリーン活動	会社周りのゴミ拾い、草取り、雪かきなど

□ **環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果ならびに違反、訴訟等の有無**

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次のとおりである

適用される法規制	適用される事項（施設・物質・事業活動等）
騒音規制法	敷地境界線上の騒音測定（コンプレッサー、プレス機）
振動規制法	敷地境界線上の騒音測定（コンプレッサー、プレス機）
廃掃法	一般廃棄物、産業廃棄物（廃プラ、金属くず、廃油）
消防法	危険物保管の指定数量以上の許可（灯油、潤滑油）

環境関連法規制等の遵守状況の評価の結果、環境関連法規制は遵守されていました。
なお、違反、訴訟等も過去５年間ありませんでした。

□ **代表者による全体の評価と見直し**

①全体的な評価
　エコアクション２１の取組みが始まって１１年経過した。
　エコアクションを続けてきている中で、省エネ・省資源・廃棄物分別といったエコ意識は社員全員で活動が出来てきているが、活動結果として数字では出にくくなってきている。
　以前からも活動はしているが、一つの製品にかかる時間を短くするために仕事の効率を少しでも良くし、作業全体としての時間を短くする「時間のエコ」に取組み二酸化炭素発生率をおさえていく活動をより強力にすすめていく。

②電力使用量削減目標未達成
電力使用量が１年通して目標値をオーバーした。
仕事量に変化により電力使用も変わっていくが、運転していない機械の電源は切るなどよりいっそうムダなことは無いよう取組を進めていく。

③他の項目については目標達成しているが、次年度以降の目標にも達成していけるよう全員での努力が必要だ。

以上、環境活動計画を見直すべき点はあるが、環境経営は図られてきている。
２０１７事業年は中期計画・環境活動計画の変更は行わないが、次の中期計画の見直しの年となる。